

評価項目表

大分類	小分類	番号	評価内容	評価方法	配点	
資質	実績	1	過去5年間（令和3～7年度）において官公庁（都道府県含む）への納入実績	過去5年間での納入実績が 5機以上：5、4機：4、3機：3、2機：2、1機：1	10	
資質	実績	2	過去5年間（令和3～7年度）においてヘリ運航事業者への納入実績	国内でのドクヘリとしての使用実績が 20機以上：5、15～19機：4、10～14機：3、5～9機：2、5機未満：1	10	
安定的な運航	実績	3	提案機体（前モデルも含む）の国内でのドクターヘリとしての使用実績（R8.4時点）	具体的に示されており、迅速な整備、修理が見込め、かつ国内に整備拠点がある：5 具体的に示されており、国内に整備拠点がある：4 具体的に示されており、迅速な整備、修理が見込める：3 具体的に示されている：2 具体的に示されていない：1	15	
安定的な運航	整備	4	整備、修理の体制について、具体的に示されているか。日本国内の整備拠点があるか。	具体的に示されており、主要部品の国内保有が豊富で、主要部品以外の供給も短期間で行える：5 具体的に示されており、主要部品の国内保有が豊富である：4 具体的に示されており、短期間で供給可能である：3 具体的に示されている：2 具体的に示されていない：1	20	
安定的な運航	調達	5	部品の供給体制について、具体的に示されているか。短期間で供給可能か。	発行されていない：5 発行されている：1	5	
安定的な運航	実績	6	提案機体（同一モデル）の不具合等で耐空性改善通報（TCD）などが発行されていないか。	不具合箇所の特定及び部品の交換が容易である：5 不具合箇所の特定が容易である：4 部品の交換が容易である：3 不具合箇所の特定及び部品交換が容易に行えない：1	15	
安定的な運航	整備	7	不具合箇所の特定や部品の交換が容易に行えるか。	日常運航に支障を来さず点検可能：5 定期点検時に運航に支障を来す恐れがある：3 日常の運航に支障を来す恐れがある：1	10	
安定的な運航	整備	8	飛行前、飛行間、飛行後点検や、定期点検（〇〇時間点検）に時間を要しないか。※耐空検査除く	5名以上：5 4名：3	10	
安定的な運航	性能・機能	9	ドクターヘリ仕様での搭乗人数（操縦士、整備士除く）	400Km以上：5 350～399Km：4 300～349Km：3 250～300Km：1	10	
安定的な運航	性能・機能	10	ドクターヘリ仕様での航続距離	過去3年度（令和5～7年度）の提案機体（前モデルも含む）の点検整備、修理等に起因する運休率（%） ※ドクターヘリとして使用している機体に限る <計算式> 運休日数 / （運航日数 + 運休日数） × 100	運休率が低い順に 1番：5、2番：4、3番：3、4番：2、5番以降：1	20
安定的な運航	性能・機能	11	過去3年度（令和5～7年度）の提案機体（前モデルも含む）の点検整備、修理等に起因する運休率（%） ※ドクターヘリとして使用している機体に限る <計算式> 運休日数 / （運航日数 + 運休日数） × 100	運休率が低い順に 1番：5、2番：4、3番：3、4番：2、5番以降：1	20	
安全性の確保	性能・機能	12	操縦士の負担軽減を行い事故が発生しないような仕組みや事故発生の際に被害を最小限に抑える仕組み、夜間運航に必要な機器が導入されているか。	仕組み、機器の導入数が 3つ以上：5、2つ：4、1つ：3、0：1	10	
安全性の確保	性能・機能	13	運航事業者や医療従事者への飛行訓練や研修の機会が確保されているか。	飛行訓練及び研修の機会が確保されている：5 研修の機会が確保されている：4 飛行訓練の機会が確保されている：3 確保されていない：1	10	
救命率の向上	性能・機能	14	キャビンスペースがフライトドクター、フライトナースが利用しやすいようなレイアウト、性能になっているか。	特に優れている：5、優れている：4、やや優れている：3、やや劣っている：2、劣っている：1	5	
救命率の向上	性能・機能	15	機内において患者の観察及び医療機器を操作できるスペースが確保されているか。	特に優れている：5、優れている：4、やや優れている：3、やや劣っている：2、劣っている：1	5	
救命率の向上	性能・機能	16	患者の搬入・搬出が容易に行えるような構造になっているか。	特に優れている：5、優れている：4、やや優れている：3、やや劣っている：2、劣っている：1	5	
救命率の向上	性能・機能	17	最大巡航速度	速度が速い順に 1番：5、2番：4、3番：3、4番：2、5番以降：1	5	
その他	性能・機能	18	騒音値が抑えられた静かな機体	騒音値が低い順に 1番：5、2番：4、3番：3、4番：2、5番以降：1	5	
その他	性能・機能	19	今後20年運用する場合のランニングコスト <計算式> 下記経費の合計額を算出 ・機体運用に必要な保守点検等の経費 ・機体運用に必要な標準的交換部品等の経費 ・機体運用に必要な燃料費	ランニングコストが低い順に 1番：5、2番：4、3番：3、4番：2、5番以降：1	10	
技術点合計					200	